
西日本支部が発足 初代支部長に廣江氏

JERコンクリ補改協

JERコンクリート補改修協会管路部会は昨年12月2日、兵庫県明石市のホテルキャスルプラザ西明石で西日本支部の発足総会を開催した。初代支部長に廣江周一氏（営善）が就任した。

会の冒頭、挨拶に立った井上敬介部会長は「発足にあたりご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。当部会の西日本支部発足総会を無事迎えられたことを嬉しく思う。今後、支部会員の幅広い活動を期待する」と述べた。

議案審議で2021年度中間事



業報告・収支決算報告（案）などがすべて原案どおり可決承認された後、廣江支部長（写真）が、「西日本支部の支部長という重責を担うことになり、身の引き締まる思いだ。他の協会との差別化を図るためにも、コロナ禍が終息した際には活発な部会活動がすぐにでも行えるよう、準備を進める必要がある。皆様のお知恵を拝借しながら、他支部との連携を深め、当支部の健全な発展と活性化のために、誠心誠意努力して参りたい」と抱負を述べた。

総会後は、日本ジッコウ・宮入篤技術顧問が講師を務め、研修会が行われた。